

# 京都府行財政改革支援等特別交付金 自己評価調書

団体名： 綾 部 市

## 1. 平成24年度 行財政改革推進計画（行財政改革推進枠）について【総括表】

計画の概要等	これまでの取組	取組状況	これまで3次にわたる行財政改革に取り組み、一定の成果を挙げてきたが、国の危機的な財政状況や少子高齢化など、本市を取り巻く環境は、今後ますます厳しくなるものと予想される中、将来にわたり持続可能な財政基盤を確立するため、更なる行財政改革の推進の道筋を示した「第4次綾部市行財政健全化の取組」（平成18年度～平成22年度）を策定。 定員管理及び給与の適正化、事務事業の再編・整理、廃止・統合等を推進してきた。	
	これまでの取組	成果	定員管理の適正化、事務事業の見直しなどによる経費削減と、市有地等の売却などによる歳入確保等により、平成18年度から平成22年度までの5年間で約10億8千万円の効果をあげることができた。 【主な成果】 （1）健全な財政運営（市有地の売却）【37,654千円】 （2）定員管理及び給与の適正化等【962,801千円】 （3）事務事業の再編・整理、廃止・統合【48,273千円】 （4）民間委託の推進【35,831千円】	
	これまでの取組	問題点	平成23年度を初年度とする第5次綾部市総合計画の策定に当たり、平成23年度から27年度までの財政見通しを立てたところ、現在の行政サービスを何の見直しもなく継続すると、施策推進のための財源は基金に頼らざるを得ない状況となり、総合計画に掲げられた様々な施策を着実に推進していくためには、それを支える確固たる財政基盤の確立が必要。	
	今後の取組	中・長期的な市町村の課題	公共施設の耐震化や下水道施設、ごみ最終処分場の整備等の大規模な公共施設整備が必要である。また、学校施設や橋りょうの老朽化による改築等が課題。 今後、少子高齢化、人口減少社会の到来に加え、様々な社会情勢の変化が予想され、これに迅速・的確に対応しながら市が真に必要な行政サービスをより効率的に提供していく必要がある。	
	今後の取組	中・長期的な市町村の取組目標	将来にわたり持続可能な財政基盤を確立するため、更なる行財政改革の推進の道筋を示した「第5次綾部市行財政健全化の取組」（平成23年度～平成27年度）を策定し、定員管理及び給与の適正化、事務事業の再編・整理、廃止・統合、地方公社及び第三セクター等の見直し等に取り組む。	
	今後の取組	目標達成に向けた具体的な取組	事務事業の再編・整理、廃止・統合において、地方公社及び第三セクター等の見直しを推進することとしている。 平成24年度は、クリーンセンターにおいてごみ発電施設の休止や、綾部市みどり公社解散後の緑化施策推進、上林小・中学校の統合による改築等を推進。 これらの取組により、今後5年間で329,000千円の行革効果を見込む。	
平成24年度行財政改革推進計画に伴う事業実績による行革効果について				
事業名・実施項目		取組実績の概要	主な実績数値（出来高数値等）	行革効果（単位：人・千円等）
クリーンセンター運営事業費		RDF（ごみ固形燃料）を使った焼却発電施設の運転休止により、施設の修繕経費を削減し、RDFの製造は続けることで、市内のごみ処理を推進	39,593千円	75,303千円
地域緑化推進事業費		綾部市みどり公社を平成23年度をもって解散し、同種の事業展開をしている綾部市シルバー人材センターに緑化推進事業を継承し、地域緑化を推進	9,351千円	19,653千円
上林小・中学校改築事業費		補強では耐震化が困難な上林小学校及び上林中学校について、統合を推進（平成24年度は改築の実設計）	16,371千円	—

（記載要領）

- 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 「主な実績数値（出来高数値等）」、「行革効果」については、出来るかぎり数値化した客観的な指標を記載すること。

# 京都府行財政改革支援等特別交付金 自己評価調書

団体名

綾 部 市

## 2. 平成24年度 行財政改革支援等特別交付金事業の個別評価について

支援区分		事業名・実施項目			
行財政改革推進枠		クリーンセンター運営事業費			
事業着手前					
課題・現状	平成14年11月に稼働した綾部市クリーンセンターは、ごみ固形燃料(RDF)製造と燃焼発電施設を備えた施設であるが、供用開始から10年が経過し、設備の老朽化による維持修繕経費が増大している。				
事業概要	RDFの燃焼発電施設の運転休止により燃焼発電施設の修繕経費を削減し、RDFの製造は続けることで、市内のごみ処理を推進する。				
期待される事業効果等	ごみ燃料による燃焼発電施設の運転を休止することで、RDFの処分が必要となるが、外部委託により処理することで維持修繕経費を削減する。				
事業実績					
取組状況	ごみ燃料による燃焼発電施設の運転を休止し平成24年11月からRDFを外部委託により処理				
主な実績数値 (出来高数値等)	RDFの搬出費用処分費用39,593				
期待される事業効果等 に対する達成状況	達成	(左の理由)	燃焼発電施設の維持修繕経費を削減		
行革効果					
行革効果の考え方	ごみ燃料による燃焼発電施設を継続運転した場合よりも、休止しRDFを外部処理委託することにより、全体経費を削減				
年度	平成24年度				
行革前(a)	458,000				
行革後(b)	382,697				
行革効果(a)-(b)	75,303				

(記載要領)

- 1 事業毎に調書を作成すること
- 2 「期待される事業効果等に対する達成状況」については、「達成」、「未達成」を記入し、その理由を右欄に記載すること。

# 京都府行財政改革支援等特別交付金 自己評価調書

団体名

綾 部 市

## 2. 平成24年度 行財政改革支援等特別交付金事業の個別評価について

支援区分	事業名・実施項目								
行財政改革推進枠	地域緑化推進事業費								
事業着手前									
課題・現状	地方公社及び第三セクター等の見直しが課題となっており、平成5年度に設立した綾部市みどり公社について解散の方針を決定した。								
事業概要	綾部市みどり公社について、平成23年度をもって解散し、同種の事業展開をしている綾部市シルバー人材センター緑化推進事業を継承する。								
期待される事業効果等	これまでの公社の運営、地域緑化推進事業の実施に係る補助金を削減することができる。								
事業実績									
取組状況	綾部市みどり公社の事業を継承した綾部市シルバー人材センターが行う緑化事業に補助を行うことで、地域緑化を推進								
主な実績数値 (出来高数値等)	地域緑化推進事業補助金: 9,351千円								
期待される事業効果等 に対する達成状況	達成	(左の理由)	補助金の総額を削減						
行革効果									
行革効果の考え方	綾部市みどり公社を解散し、綾部市シルバー人材センター緑化推進事業を継承することで、補助金総額を削減								
年度	平成24年度								
行革前(a)	29,004								
行革後(b)	9,351								
行革効果(a)-(b)	19,653								

(記載要領)

- 1 事業毎に調書を作成すること
- 2 「期待される事業効果等に対する達成状況」については、「達成」、「未達成」を記入し、その理由を右欄に記載すること。

# 京都府行財政改革支援等特別交付金 自己評価調書

団体名

綾 部 市

## 2. 平成24年度 行財政改革支援等特別交付金事業の個別評価について

支援区分		事業名・実施項目			
行財政改革推進枠		上林小・中学校改築事業費			
<b>事業着手前</b>					
課題・現状	少子化や人口減少の進行に伴い、綾部市では児童・生徒数の減少が続いており、小学校の統合を進めるとともに、校舎の耐震化を推進している。				
事業概要	補強では耐震化が困難な上林小学校及び上林中学校について、統合して1箇所改築の方針を決定。				
期待される事業効果等	小学校と中学校を個別に改築するよりも、統合して改築を行うことで、改築費用や維持管理経費を削減できる。				
<b>事業実績</b>					
取組状況	校舎の地震耐力度調査を実施し、補強では耐震化が困難な上林小学校及び上林中学校について、統合して1箇所改築を推進				
主な実績数値 (出来高数値等)	耐力度調査委託及び実施設計業務委託: 12,846千円				
期待される事業効果等 に対する達成状況	未達成	(左の理由)	校舎統合が平成27年度の予定であり、現時点で維持管理費に増減なし		
<b>行革効果</b>					
行革効果の考え方	小学校と中学校を統合することで、維持管理経費を削減				
年度	平成24年度				
行革前(a)	16,371				
行革後(b)	16,371				
行革効果(a)-(b)	0				

(記載要領)

- 1 事業毎に調書を作成すること
- 2 「期待される事業効果等に対する達成状況」については、「達成」、「未達成」を記入し、その理由を右欄に記載すること。